

社協だより

しろいし

～支えあう まちづくり～

No.83

令和6年
4月1日発行



ハーネスを外して触れ合う盲導犬のオルフくんと児童たち（中央 佐藤長一さん さとうちやういち）

大鷹沢小学校に盲導犬がやってきた！

令和6年2月15日（木）白石市立大鷹沢小学校で4年生6名の元に、仙南唯一の盲導犬ユーザー佐藤長一さん（大河原町在住）と盲導犬のオルフくんをお招きして、「視覚障害のこと」、「盲導犬がどのように視覚障害の人を助けているのか。」などについて学びました。実際にオルフくんが障害物をよけて長一さんを誘導したり、危険な段差を教える様子なども見せてくれました。

社会福祉協議会とは

地域のお子さんから高齢者の方まで、みなさんが生涯を通して安心して暮らせるよう、福祉活動の参加・利用の支援、日常生活などの相談受付、募金・ボランティア活動、介護保険事業などを行う法人です。

主な内容

- 令和6年度事業計画及び予算、朝倉会長 新年度のご挨拶 2P～3P
- 社協会費のお願い、令和5年度社協会費実績報告 4P
- 社協会費活用事業のご紹介 5P
- 福祉体験学習 6P
- 受賞者紹介、白石市ボランティア連絡協議会交流会、サロン研修会、ボランティア保険受付 7P
- お知らせ 8P

社会福祉法人白石市社会福祉協議会

「社協だよりしろいし」は、赤い羽根共同募金の配分金を財源に発行しています。



令和6年度 事業計画及び予算

「誰もが住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らし続けられる地域づくり」の実現に向け、福祉活動の参加・利用の支援、日常生活などの相談受付、募金・ボランティア活動、介護保険事業など各種地域福祉事業に取り組んでいきます。

重点目標

- ① ともに支え合う地域づくりの推進
- ② 小地域福祉活動の推進
- ③ 在宅福祉サービスの推進
- ④ 組織体制の強化と自主財源の確保

1. 法人運営事業

- (1) 法人運営事務事業
- (2) 助成事業
- (3) 地域生活支援事業
- (4) 社会福祉大会事業
- (5) 地域福祉活動計画事業
- (6) 災害ボランティアセンター事業

2. 共同募金配分事業

- (1) 共同募金配分事業

3. 地域福祉推進事業

- (1) 生活福祉資金事務事業
- (2) 福祉サービス利用援助事業「まもりーぶ」
- (3) 高齢者等地域ささえ愛互助活動支援事業
- (4) 生活困窮者支援事業
- (5) 子どもの学習等支援事業
- (6) 生活支援体制整備事業

4. やまぶき園管理者運営事業

- (1) 福祉作業所やまぶき園事業
- (2) 福祉プラザやまぶき事業

5. 介護保険事業

- (1) 訪問介護事業
- (2) 居宅介護支援事業

6. 障害福祉事業

- (1) 居宅介護事業

7. 緊急援護事業

- (1) 生活安定資金事業
- (2) 生活安定資金欠損補填積立金事業
- (3) 母子福祉対策資金事業
- (4) 応急小口資金貸付事業

新年度のご挨拶



会長 朝倉 秀雄

白石市民のみなさまには、常日頃、白石市社会福祉協議会の諸活動に対しまして、深いご理解とご支援をいただいております。心から感謝申し上げます。

令和5年度は、おおむね順調に過ごし、当初の予定どおり事業を推進することができました。これも市民のみなさまのご協力のおかげです。ありがとうございました。市民のみなさまの福祉向上に貢献できることが社協活動活性化の源となっております。

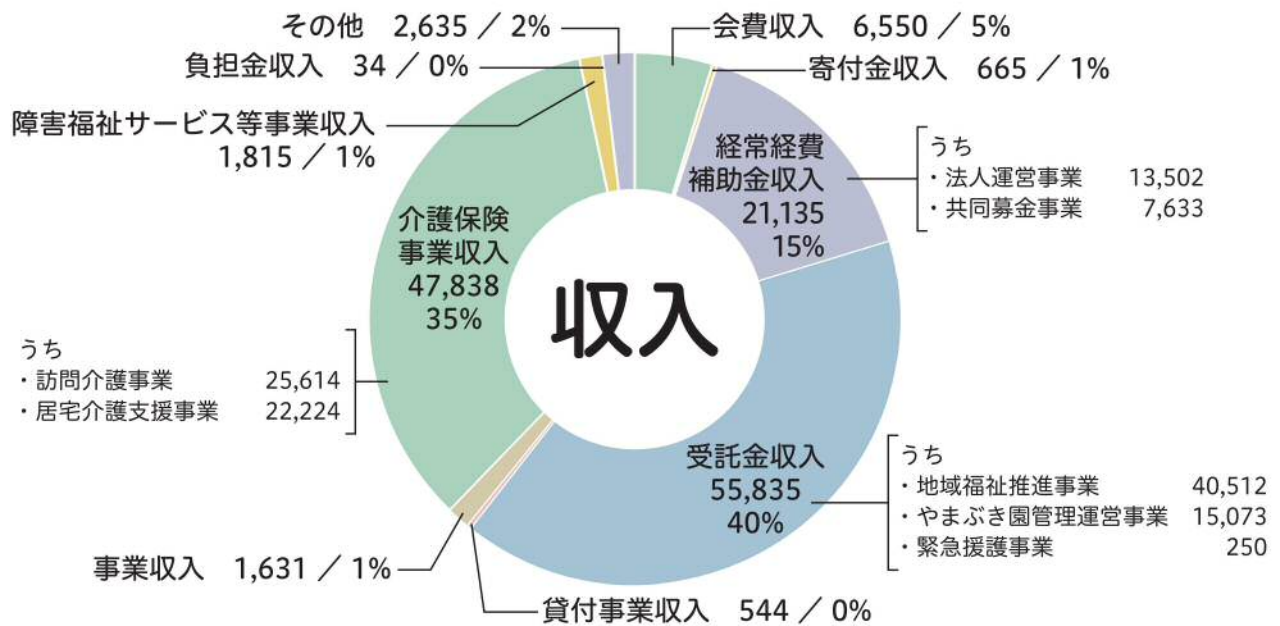
新年度に入り、役職員一同、心を新たにして白石市の福祉向上のため力を尽くしてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



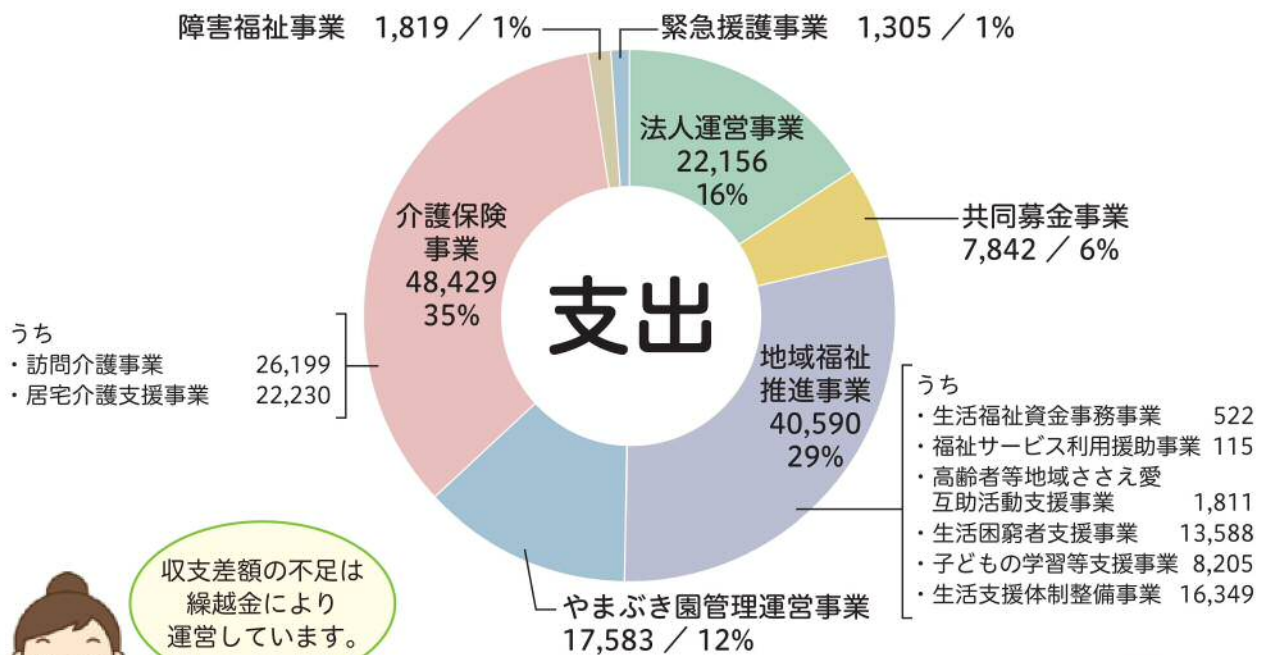
収 支 予 算

(単位：千円)

●収入総合計額 1億3,868万2千円



●支出総合計額 1億3,972万4千円



収支差額の不足は繰越金により運営しています。

社協会費のお願い

～住民一人ひとりの『力』が大きな力になる～

みなさんの会費が地域の福祉活動を支えています

少子高齢化が加速している今日において、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯が増えており、介護予防、認知症予防が重要になっています。

また、家族形態の多様化などから子育て環境が変化するほか、生活困窮者世帯や引きこもりなど、多くの地域課題が生じています。

白石市社協において、「誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくり」を目指して取り組んでいます。次のページに記載しております様々な地域福祉活動は、みなさんからの貴重な社協会費によって支えられています。

今年度も、白石市民のみなさんをはじめ、法人、団体など、多くの方に会員になっていただき、地域の支え合い活動をますます発展・活性化していくため、会費納入にご協力くださいますようお願いいたします。



● 会費の種類と金額

会費の種類		金額
一般会員	白石市民の方	年額 600円
特別会員	社協事業にご賛同いただける個人の方	年額 1,000円以上
特別賛助会員 (法人・団体)	市内の社会福祉施設、法人・団体	年額 2,000円以上

令和5年度社協会費実績報告

みなさんからのたくさんのご協力ありがとうございました！

昨年度は、みなさんからのあたたかいご支援と白石市自治会連合会各支部のご協力により **6,318,200円** の会費が寄せられました。誠にありがとうございました。

支部	会員数	会費実績額(円)	支部	会員数	会費実績額(円)
白石	5,535	3,327,400	大鷹沢	564	341,200
越河	442	270,000	白川	467	299,000
斎川	303	194,200	福岡	2,067	1,245,000
大平	785	482,800	小原	255	158,600

合計
会員数
10,418
会費総額
6,318,200円

[令和6年3月1日現在]

社協会費活用事業のご紹介

社協会費は、福祉活動推進のための大切な財源として、児童福祉、高齢者福祉、障害者福祉、ボランティア・福祉教育の推進、各地域における福祉団体等への助成に活用させていただいています。

ブックスタート事業

～ share books , share happiness ～
(本を共有し、幸せを分かち合います)

ブックスタートとは、健診などの機会に、絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。

抱っこぬくもりの中で絵本を読んでもらう心地よさや嬉しさを赤ちゃんに届けます。

本会では、子育て支援事業として「ブックスタート事業」を実施しており、市の6ヶ月児育児相談で絵本を贈呈しています。



小学校入学応援事業

～新入学のお子さんに祝福とエールを～

小学校入学を祝福するとともに、小学校生活で活用できる物品を贈呈し、お子さんの生活・学習を応援します。



地域福祉活動計画

～住み慣れた地域で安心して暮らし
続けられる地域を目指して～

地域の生活課題に寄り添った具体的な取り組みを計画化し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりを推進します。



小原地区活動の様子



小原地区の基本目標「つながりの輪を広げます」への取り組み「誰でもサロン」の様子

車イス自動車貸出事業

外出が困難な高齢または障害がある方などに、車イスのまま乗降が可能な「車イス用自動車」の貸出を行い、外出を支援します。



生活困窮者支援事業

生活相談や見守り活動を通じて、病気や低収入などにより生活に困っている世帯へ、最低限必要な生活用品を支援します。





福祉体験学習

当社協では、市民のみなさんの温かい善意の気持ちで寄せられた「赤い羽根共同募金」の一部を使用して、市内の小学校・中学校で開催される福祉体験学習の助成を行っています。

キャップハンディ体験

〔車イス体験〕

自操ではどんなところが大変なのか？ 介助ではどうしたら安心・安全なのか？ 段差や障害物などのコースを使って体験しました。



福岡小学校

〔白杖体験〕

アイマスクで歩くとても不安になること、見えない人にわかりやすく言葉で伝えることの難しさなどを体験しました。



白川小学校

〔非利き腕で豆つかみやアイマスクでの折り紙体験〕

いつもなら簡単にできることが、状況や条件が少し変わるだけで、なんだかとても不自由なることを体験しました。



非利き腕豆つかみ



アイマスク折り紙

視覚障害に関する出前講座

コルジャ仙台ブラインドサッカークラブのみなさんをお招きして、視覚以外の情報を元にイメージして行動すること・まわりとコミュニケーションを取ることの大切さを学びました。



福岡中学校



大鷹沢小学校

宮城県視覚障害者福祉協会から佐藤良彦さん（視覚障害有）をお招きして、「視覚障害」のこと、「互いに思いやる大切さ」を学びました。



福岡中学校

大河原町の点訳グループ「てんとうむし」のみなさんをお招きして、「点字の打ち方・読み方」を体験。「点字の役割」について学びました。



深谷小学校

受賞おめでとうございます。

令和5年11月21日（火）に開催された第92回全国民生委員児童委員大会において、下記の方が受賞されました。誠にありがとうございます。

令和5年度全国民生委員児童委員表彰

永年勤続民生委員・児童委員表彰 大庭 奈美子(白石)様



白石市ボランティア連絡協議会 交流会を開催しました。

令和5年11月21日（火）中央公民館にて、健康運動指導士の齋藤幸子氏を講師に、「明るく・楽しく・健康長寿を目指そう!」をタイトルに掲げ、白石市ボランティア連絡協議会交流会を開催しました。団体の枠を超えて交流を図り、今後の地域福祉活動へ向け、心身ともにリフレッシュしていただきました。



令和5年度ふれあいサロン 研修会を開催しました。

令和5年11月28日（火）中央公民館にて、介護予防運動指導員の巨泉猛氏を講師に、ふれあいサロンの研修会を開催しました。普段の脳トレも、こんな風にすると「楽しい」がパワーアップすることを学びました。サロンに持ち帰ってすぐに使えるものばかり。今後の活動に活かして欲しいです。



ボランティア保険受付

～令和6年度 ボランティア保険・

ボランティア行事保険を受け付けています～

自発的な意思による他人や社会に貢献する無償のボランティア活動で、団体の会則に則り企画・立案された活動であるか、社会福祉協議会に届け出た活動などの要件を満たす場合に加入できる保険です。



補償内容	傷 害	ボランティア活動中の事故によるボランティア本人のケガ
	賠償責任	ボランティア活動中に他人にケガをさせてしまった場合や他人の物に損害を与えてしまった場合など
保 険 料	300～800円（補償額に応じた5種類のプランがあります。）	

※ボランティア行事保険も随時受け付けます。

お知らせ

ご寄付いただいたお米を精米・袋詰めしました！

令和5年11月14日（火）、JAみやぎ仙南女性部白石地区のご協力の元、これまで地域のみなさんからご寄付いただいたお米を、「精米・袋詰め」することができました。フードバンク事業で有効に活用させていただきます。

ご協力いただいたJAみやぎ仙南女性部白石地区のみなさん、お米をご寄付いただいたみなさん、ありがとうございました。



フードバンク事業にご寄付をいただきました。～地域貢献に感謝～

レスキューフーズ・レトルト食品・お菓子・日用品など、たくさんのご寄付をいただきました。支援を必要とする方などへ活用させていただきます。ありがとうございました。



R5.12.19(火)
(株)ユアテック白石営業所様



R6.2.2(金) ソニーセミコンダクタ(株)
白石蔵王テクノロジーセンター様



R6.2.28(水)
一般社団法人フードバンクいしのまき様

二十歳を迎えたみなさんよりご寄付をいただきました。

令和6年1月30日（火）、『令和5年度二十歳を祝う会』で集まった募金の贈呈式を行いました。集まった募金2,471円は、「地域福祉のために役立てて欲しい」と社会福祉協議会に寄付されました。二十歳を祝う会実行委員長の高見澤治希さんは、「将来は地域福祉に貢献できる社会人になりたい」と語ってくれました。

二十歳を祝う会実行委員長 高見澤治希さん(左)



あたたかい善意ありがとうございました

福祉に活用してほしいと、みなさんから温かい善意が寄せられました。

◆ご寄付の御礼（令和5年11月1日～令和6年2月29日）

- 福島ヤクルト販売(株)ヤクルト親交会様 50,000円
 - 白石市婦人会 会長 栗原幸江様 玄米30Kg
 - (株)ユアテック白石営業所様 非常用災害食240食分
 - 匿名希望様 玄米60Kg
 - 令和5年度二十歳を祝う会実行委員会様 2,471円
 - ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)
白石蔵王テクノロジーセンター様 食料品・日用品
 - 一般社団法人フードバンクいしのまき様 食料品・お菓子
- ※いただいたお米等はフードバンク事業に活用しています。

◆自動販売機売り上げの一部が寄付され、地域福祉に充てられます。

- トーカドエナジー(株)
白石工場様 9,013円
- 東北電力ネットワーク(株)
白石電力センター様 4,594円

(令和5年10月1日～令和6年2月29日)



社会福祉法人 白石市社会福祉協議会

〒989-0231 宮城県白石市福岡蔵本字茶園 62-1
(白石市総合福祉センター内)

TEL: 0224-22-5210 FAX: 0224-22-1571
生活総合相談: 0224-22-2130

○E-mail: info@shiroishi-shakyo.jp

○白石市社協ホームページ <https://shiroishi-shakyo.jp/>

公式 Facebook もぜひご覧ください。 [Qしろいし社協 検索](#)



しろいし社協

